

Gikai

Kamifurano

第113号

2022年2月10日

発行

かみふらの 議会だより

議会懇談会開催

未来へ届け 若者の声

12月定例会 6名の一般質問

干ばつ被害の対策は？

第5回臨時会 賛否わかれ討論

ボーナス減額!? 賛成? 反対?

令和2年度決算特別委員会

157の質疑で大議論!!

議会運営委員会報告

議会改革のトキ

議会広報特別委員会報告

**広報研修の成果が
この議会だよりだ!!**



今号の表紙写真

JAふらの青年部上富良野支部の方々

基幹産業は農業だ。

私たちの町のこと” 議会懇談会

紙面報告

養護学校の送迎



菅原 智美さん
中央保育園 父母の会

子育て支援



加藤 拓志さん
わかば愛育園 父母会

特産品



芳賀 晃さん
西こども園 父母の会

楽しい町に



鈴木 美沙さん
高田幼稚園 父母の会

Q.

「議員に積極的に取り組んでもらいたい町の課題は何ですか？」

参加してくれた各団体から1名の方に伺いました。

11月26日、30日に議会懇談会を開催しました。今回は「コロナ禍ということもあり、事前に参加を依頼していた町内団体の皆様（JAふらの青年部上富良野支部、上富良野町商工会青年部、高田幼稚園・西こども園・わかば愛育園・中央保育園の各父母会）と共に、それぞれのまちづくりの課題、困っていること、悩んでいること、こんな取り組みがあったらいいなど、各団体が抱える課題について懇談が行われました。

農業者・商工業者の意見

- ・かみふらの八景があり、観光客が多く通る道路を補修してほしい。
- ・6次産業化は設備投資に多額な資金が必要で失敗できないためハードルはかなり高く、生産者が生産・加工・販売すべてを行うことは難しい。これらを「コ－ディネート」する人が必要。
- ・企業誘致で工場を立ててほしい。定住にも人口増にもつながると思う。
- ・日の出公園駐車場は、イベント時に駐車料金を取つたらいいと思う。
- ・子どもが参加できる祭り、イベントを開催してほしい。
- ・タクシ－の営業時間、町から補助等して、もう少し遅くまで営業してもらえないか。
- ・商工業者の人材不足について、若い人材を育てていかなければならないので町で支援、助成してほしい。

子育て中のパパ、ママの意見

- ・子どもの医療費を無料にしてほしい。
- ・町立病院に小児科を設置してもらえないか。毎日でなくても週2回とかでも小児科が欲しい。
- ・雨天時や冬場に子どもが遊べる屋内施設が欲しい。
- ・障がい児のデイサービスの送迎の助成や、子どもの少年団の送迎など支援してほしい。
- ・日の出公園のラベンダーのライトアップはとても綺麗で町の自慢です。良かったから続けてやった方がいい。
- ・子どもが多くなると負担が大きいのので多子世帯に対する支援を。

議会懇談会はどうでした？

西尾 菜緒さん
上富良野町商工会青年部



とても話しやすい雰囲気の中で困っていることや課題を具体的に話し合えて、託児もあって良かったです。意見を集める場は度々必要だと思います。今回出た意見がどのように町政に反映されていくのかが大事な部分ですね。

懇談会や議会の傍聴など、子育て中や、日中働いている人たちが参加できるよう託児や動画配信などしていただけたら嬉しいです。そうすることで若い人たちが積極的に町に関わることができるようになるのでは。

福屋 健輔さん
高田幼稚園父母の会



懇談会への参加は初めてでしたが、共感できる意見も多く、自分の考えを伝えることもできてとても有意義な時間でした。上富良野の自然は他にはない素晴らしい景色で、いろいろな人に知ってもらいたいし、自然を生かした食育やイベントで町がもっと活性化したらいいと思います。

今回のような同世代で団体という面識あるグループでの懇談会は発言しやすいし、参加のハードルも下がってとても良かったと思います。

“私たちも伝えたい”

障がい者支援

食育



鈴木 康治朗さん
商工会青年部



仲島 裕貴さん
JAふらの青年部上富良野支部



その他の貴重なご意見

- ・家の前の間口の除雪もしてほしい。
- ・通学路など町を明るくするような整備が必要。
- ・駅前が寂しい。駅前や日の出公園の噴水場の美化活動が必要。
- ・キャンプ場は評価が高いので拡張や遊具設置をして活かしてほしい。
- ・上富良野の良さをもっと理解してPRをするべき。
- ・道の駅など知名度が上がる、地場産品が買える施設が欲しい。

※ご意見は一部を掲載しています。

補正
予算

令和3年度第4回定例会では子育て世帯への現金支給や、原油価格高騰を受け、公共施設の燃料費の予算増などの補正予算が提出されました。それぞれの議案は常任委員会での協議も踏まえ慎重に審議された結果、すべて原案のとおり可決されました。

国の臨時特別給付金を町独自に先行給付

1億5,730万円

18歳以下の子ども一人当たり **10** 万円



早急な支給のために

令和3年11月に閣議決定された国の経済対策に基づき実施するもので、町内の18歳以下の子どもがいる世帯で、所得制限限度額未満の世帯に支給されます。当初、国の示す方針に則り、現金5万円とクーポン5万円での支給などの案も検討されましたが、最終的に給付の方法は自治体の判断に委ねられたことにより、現金10万円の一括支給という形をとることになりました。

また早急な支給のために、専決処分を行い、承認され12月24日に支給を開始しました。

12月定例会の概要

12月定例会は、12月15日から16日までの2日間の会期で開かれました。一般質問には6名の議員が立ち、ふるさと応援モニター事業、干ばつ被害対策、日の出公園の利活用、中学生までの医療費無料化など15項目にわたって議論が交わされました。

補正予算、条例改正、公共施設指定管理者の指定、意見書などが審議され、全て原案のとおり可決されました。

役場庁舎や各学校等、町内各公共施設、合わせて11施設の燃料費（灯油・A重油）の追加補正を行いました。



役場庁舎のボイラー

予算策定時より1リットル約30円高

原油価格高騰の影響を受け **1千32万円**

上富良野町パークゴルフ場利用案内

■利用期間 4月下旬～11月上旬
■利用時間 午前6時から日没まで
（時期により変更される場合があります。）
※普通火・水・木は芝管理の為3コースの内1コースが利用できません。また、天候の状態（強い雨・風・雪等）により変更及び利用を中止することもあります。

■回数券及びシーズン券
※シーズン券の有効利用期間は、当年度の利用開始の日から利用終了の日まで。
※回数券の有効利用期間は、臨睡年の初めとする。

■利用料金表

利用区分	利用区分	利用区分
高学年以下	1日券 100円	150円
一般	1日券 300円	500円
一般（15名以上）	3,000円	4,500円
シーズン券	10,000円	15,000円

（料金は、消費税別）

■貸出用具 1回 200円
（破損又は紛失した場合は、使用者の負担となります。）
併償金 1,000円

パークゴルフ場指定管理者 関シー・エス・ティ

シーズン券購入費を一部返還へ 48万円

パークゴルフ場69日間の閉鎖を考慮

パークゴルフ場は令和3年のオープン期間189日のうち、新型コロナウイルス感染症の影響により69日の閉鎖を余儀なくされました。通常、シーズン券の返金は行っておりませんが、130名の購入者に対し、閉鎖期間分の利用料（52円/日）を返還することになりました。



国にデジタル庁ができたことにより、行政手続きにおいても、はんこの押印を軽減していく方針が示され、当町においても、一部手続きに関しては条例を改正し、押印の義務がなくなりました。

条例改正

「上富良野町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例」は、令和元年5月31日公布の通称「デジタル手続法」との整合性を図るため、この度の改正となりました。

【おさらい】 デジタル手続法で何が変わった？

本人確認に関しては、マイナンバーカードを健康保険証として利用できるようにするなど、より利便性向上に向けた取り組みが進められています。更に、利用者証明用電子証明書に関して暗証番号の入力を必要としない利用方法の導入やe-taxによる確定申告、コンビニ等での住民票取得など、さらに利便性が高まっています。



内閣府ホームページより

(<https://www.cao.go.jp/bangouseido/ad/file.html>)

指定管理者の指定

指定管理者制度（公の施設をノウハウのある民間事業者等に管理してもらう制度）に基づき、町内の左記4施設の指定管理者を決定しました。

なお、指定の期間は令和4年4月1日から令和9年3月31日の5年間で



『吹上温泉保養センター』 ↓ ㈱上富良野振興公社
『日の出公園施設』 ↓ ㈱上富良野振興公社
『パークゴルフ場』 ↓ ㈱シー・エス・ティ
『見晴台公園』 ↓ 十勝岳観光協会

富良野広域連合議会 第2回定例会

令和3年第2回富良野広域連合議会定例会が、10月15日に開催され、補正予算案1件、人事案2件、認定1件（令和2年度一般会計決算認定）、財産取得1件が提案され、原案のとおり可決・認定されました。

任期満了に伴い教育委員会教育長には、近内栄一氏（富良野市教育委員会教育長）、教育委員会委員は、森田智恵子氏（占冠村教育委員会委員）が再任されました。

特別職、町職員、議員の期末手当は減額で可決 会計年度任用職員の減額は反対多数で否決

11月臨時会（第5回、第6回）の概要

令和3年第5回臨時会において、高齢者世帯に対しての福祉灯油の一般会計補正予算（第8号）と、人事院勧告に基づいた12月期末手当を減額する案が提出されました。福祉灯油についての補正予算は全会一致で可決されました。期末手当の削減については賛否が分かれ、特別職（町長・副町長・教育長）と一般職員は減額する案が賛成多数で可決されましたが、会計年度任用職員については反対多数で否決され、現状のまま支払うことになりました。

また、同時に小田島議員から議員の期末手当も減額する動議が提出され、賛成多数で減額することに可決されました。

会計年度任用職員

賛成 6

北條 金子
中澤 米沢
佐藤 荒生
小田島 岡本

反対 7

元井 高松
中澤 米沢
荒生 小田島
林 村

賛成討論

（中澤議員）
反対討論にも理解はできるが、人事院勧告の重みや一般職員との公平性を尊重すべき。

反対討論

（元井議員）
そもそも非常勤で勤勉手当はなく、一般職員と比較しても手当が低い。医療職や介護職も多く、ワクチン接種事業では大いに健闘されていた。

一般職員

賛成 7

北條 金子
中澤 米沢
佐藤 荒生
小田島 岡本

反対 6

元井 高松
中澤 米沢
荒生 小田島
村

賛成討論

（北條議員）
上富良野町職員と執行者との交渉の結果、下げるといふことに対しての案を尊重したい。

反対討論

（米沢議員）
「□□ナ禍においても職員は町民の安全確保のため職務に専念しており、手当の削減は理解できるものではない。」

議員

反対 2

中澤 米沢
村

賛成 11

元井 北條 高松 金子
中澤 米沢 荒生 佐藤
小林 小田島 岡本

発議案

小田島議員

「□□ナ禍の影響を受け、あらゆる業態において売り上げが低迷し、業績が悪化しており、住民は不安な状況が続いている。住民の代表である議会議員も人事院勧告に伴い、期末手当の引き下げを行うべき。」

反対討論

（今村議員）

今は経済の活性化を図らなければならず、減額は今でなくてもよいと考える。閣議決定の方針に伴い、6月に調整するという考え方もある。

賛成討論

（小林議員）

今回の減額は「□□ナ禍で減収を余儀なくされた町民に寄り添うものである。特別職や職員の減額には賛成したのに議員は現状維持というのには理解を得られない。」

会計年度任用職員の給

与条例の改正案の否決を受け、職員給与と整合性をとる形で翌日修正案が上程され、審議の結果、賛成多数で修正案が可決されました。このことで会計年度任用職員の期末手当は減額しないこととなりました。

ひとくちメモ

「人事院勧告って？」
国家公務員の給与水準を民間企業従業員の給与水準と均衡させることを基本に人事院により勧告を行っているもの。

12月定例会、第4・5・6回臨時会 審議議案と議員の賛否

上程議案・結果 (賛成：○ 反対：× 欠：欠席 除：除斥)	結 果	元 井 晴 奈	北 條 隆 男	高 松 克 年	中 瀬 実	金 子 益 三	中 澤 良 隆	米 沢 義 英	荒 生 博 一	佐 藤 大 輔	今 村 辰 義	小 林 啓 太	小 田 島 久 尚	岡 本 康 裕	村 上 和 子
【可決】…原案可決、承認可決 【否決】…原案否決															
第4回定例会 (令和3年12月15日～16日)															
専決処分の承認を求めることについて (令和3年度上富良野町一般会計補正予算(第9号))	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
令和3年度上富良野町一般会計補正予算(第10号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
令和3年度上富良野町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
令和3年度上富良野町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
令和3年度上富良野町介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
令和3年度上富良野町ラベンダー・ハイツ事業特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
令和3年度上富良野町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
令和3年度上富良野町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
令和3年度上富良野町水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
令和3年度上富良野町病院事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
職員のサービスの宣誓に関する条例及び上富良野町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
上富良野町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
上富良野町手数料条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
上富良野町十勝岳翁地区飲料水供給施設条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
土地改良事業分担金徴収について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
南部地区土砂流出対策工事(ベベル川)X R2国債)請負契約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
見晴台公園の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
日の出公園施設の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
吹上温泉保養センターの指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
上富良野町パークゴルフ場の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
上富良野町議会委員会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
議員定数・議員報酬調査特別委員会設置に関する決議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
議員派遣について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
燃油等の価格高騰対策、国の農業予算や運用変更に関する意見について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
地球温暖化、海水温上昇に伴う水産漁業被害の解明と支援策を求める意見について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
中華人民共和国による人権侵害問題に対する調査及び抗議を求める意見について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
議案の訂正について(議案第5号 令和3年度上富良野町介護保険特別会計補正予算(第3号))	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
第4回臨時会 (令和3年11月5日)															
専決処分の承認を求めることについて (令和3年度上富良野町一般会計補正予算(第6号))	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和3年度上富良野町一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上富良野町防災行政無線デジタル化整備工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員派遣について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第5回臨時会 (令和3年11月29日)															
令和3年度上富良野町一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和3年度上富良野町ラベンダー・ハイツ事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和3年度上富良野町病院事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上富良野町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	×	○	×	×	○	○	×	×	○	×	○	○	○	
上富良野町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	否決	×	○	×	×	○	○	×	×	○	×	×	○	○	
特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
上富良野町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
第6回臨時会 (令和3年11月30日)															
上富良野町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ「議長採決」として表明します。

令和2年度決算

157

の質疑を経て認定

決算特別委員会が10月6日・7日・8日の3日間開かれ、令和2年度各会計の決算が審議され、審査意見書を付けて認定されました。会期中に議員から町に対して行われた質疑は全部で**157**回。質疑の後、2つの分科会に分かれて審査意見書作成の協議がなされ、最終的に3つの意見を付した意見書が作成され、岡本委員長から町長に提出されました。

提出された意見書

一般会計

(歳出)

- 1 公共施設の省エネルギー対策について、再生可能エネルギーや省エネルギー設備の導入を積極的に図られ、更なるCO2削減に努められたい。
- 2 ふるさと応援寄附モニター制度について、適切な品質管理がされるよう指導・監督を十分に努められ、寄附の増額を図られたい。
- 3 町民の利便性の向上のため、オンライン申請手続きの拡充に努められたい。

ピックアップ質疑応答



《省エネルギー》

問 町では公共施設等のCO2の排出量は前年と比べてどのくらい抑えられているか？

答 削減目標を定めている施設では、平成31年度が5千470トン、令和2年度が5千173トンと、300トンほど減っている。

《移住》

問 お試し暮らし住宅や移住準備住宅として利用している旧教員住宅は建物も古く、利用者にとって魅力的ではないのでは？

答 令和2年度からは民間アパート等を活用したシーブンステイ住宅というふうに切り替えている。

《オンライン申請》

問 令和2年度当初から現在に至るまでオンラインでの行政手続きが増えていないように見受けられるが？

答 現在、本人確認が必要な手続きが9事務、確認を必要としない手続きが7事務運用されている。今後においても基本的には、やれるところからどんどん拡大していこうと考えている。

《庁舎耐震化》

問 役場庁舎の耐震化はすでに終わっているのか？

答 耐震化は終わっており、今の基準は全く満たしていない現状にあることは変わっていない。

《スキーリフト子ども無料化》

問 子ども達にはスキーリフトを無料で利用できるようにするなどの政策展開の考えは？

答 子ども達の冬のスポーツ振興を図っていく一つの施策として今後検討していきたい。

《ふるさと応援モニター（ふるさと納税）》

問 返礼品が間違いなく上富良野産であるかなどの検査体制は？

答 事業者の登録当初は産業振興あい協議会において確認がなされ、その後はふるさと納税サイトの管理委託業者の方で行っているものと認識している。町で全ての返礼品をチェックするのは困難である。

上富良野のここが聞きたい!!

6名の議員が町政を問う

一般質問とは、年4回の定例会において議員が住民の声や自身の考えなどにより、町政全般にわたって執行者の考えをたずねるものです。

議会だよりではスペースの都合上、質問と答弁を要約して掲載しています。

詳細は後日、行政ホームページに会議録を掲載します。

議場では臨場感のあるやり取りを傍聴することができます。ぜひ、議場へお越しください。



中瀬 実 議員

- ① 干ばつ被害の対策は
- ② 公共施設の維持管理と庁舎の耐震対策は



佐藤 大輔 議員

- ① 町のPR施策について
- ② ふるさと応援モニター事業について



小林 啓太 議員

- ① 日の出公園の利活用に関して



高松 克年 議員

- ① 干ばつ、価格低下による農家への支援対策を
- ② 土砂災害の対応は



米沢 義英 議員

- ① 子ども医療費無料化について
- ② 国民健康保険税の負担軽減について
- ③ 介護施設利用料について
- ④ 子どもの予防接種について
- ⑤ 定住移住策について



荒生 博一 議員

- ① 令和4年度予算と財政見通しについて
- ② 高齢者支援策について
- ③ ワクチン接種証明書について

つぶやき...

議員の質問や考えなどを自由に記入しています。

ひとくちメモ

上富良野町議会では、1人最大60分の時間内で事前に提出した通告書にそって町に対して質問を行っています。

ふるさと
納税

業務体制の整備等が必要では

町長－現体制下で事業の充実を検討する

佐藤議員 近隣では旭川市が新庁舎の建設にCF型を活用している。我が町も泥流地帯映画化プロジェクトを含め、CF型のプロジェクトを企画していく。

齊藤町長 CF型は有効なものとして認識している。モニター商品協力事業者の開拓も進めなければならない。現体制下で寄附者に選んでもらえる仕組み作りについて検討していく。

佐藤議員 去年は3億を超過、今後寄附額の更なる増加が期待できる我が町こそ、クラウドファンディング型ふるさと納税（以下CF型）の実施、寄附者にその成果を明確に示すこと、業務体制の整備が必要では。

つぶやき…
他の自治体も本腰を入れ始めている。我が町もどうかしてられない…



モニター商品の発送作業に追われる協力事業者

ポータルサイトに掲載する考えはないか。
齊藤町長 CF型を否定するわけではないが、今のところ計画はない。

佐藤議員 CF型はふるさと納税の王道である。CF型の企画、立案を通じて職員の経験値の向上、更に町のPR効果などが期待できると思うが。



佐藤 大輔 議員

齊藤町長 ご教示いただいたことは共感できるものであり、今後検討していきたい。

佐藤議員 返礼品から選んで寄附する方に対して、我が町の寄附金の活用に関する報告は決して十分とは言えない。町のHP

佐藤議員 適切な返礼品の供給、新規協力事業者の開拓、寄附者との更なる繋がりを出すための取り組みなど、事業をより充実させるために、地域おこし協力隊を採用するなど、体制を強化する考えはないか。

齊藤町長 マーケティング等の知識に長けた地域おこし協力隊を採用する

ひとくちメモ

クラウドファンディング型ふるさと納税とは：「返礼品」から選ぶのではなく、自治体が課題解決のために掲げる「使い道」から選んで寄附（納税）をする仕組み。

防災
対策

庁舎の耐震改修は

町長－改修計画の策定までにいたっていない

つぶやき…

最近世界中で毎年どこかで、異常気象による災害が発生している。人間による、乱開発に地球が自然が警告しているのかも。



中瀬 実 議員

中瀬議員 町の公共施設総合計画、上富良野町強靱化計画の個別の長寿命化、町道や河川の維持管理計画等、優先順位のつけ方の基準は。

斉藤町長 道路、河川等の補修、改修については、地域からの要望や陳情等を受けて、受託業者と町で現場を確認しながら、道路等整備計画、河川整備計画を基本として凹凸やひび割れ等の劣化により、車両や歩行者の通行に支障を来している状況等を勘案し、都度、優先順位を決めて補修整備を行っている。組織として最終的な判断はこれから私がしていく。

中瀬議員 役場庁舎の耐震化の計画は。

中瀬議員 今後改築の予定は。

斉藤町長 町内の小中学校校舎の耐震改修が優先的に進められ、役場庁舎の耐震化に対する具体的な対策の実施、改修計画の策定までにいたっていない。

斉藤町長 現時点では具体的な時期を含めて、内容を示すものは持ち合わせていない。

引き続き他の公共施設の更新、集約化など、多面的な面から研究を進めていく。



早期改修が望まれる庁舎

干ばつ被害の対策は

中瀬議員 今年の夏は記録的な高温、少雨となり干ばつにより、農作物全般にわたり大きな被害が発生した。上富良野町の被害額「12月上旬現在」と、資金の申し込み状況は。

斉藤町長 特に馬鈴薯、豆類、甜菜、カボチャなどの野菜類の被害が大きく、現段階での農作物の被害見込額は約5億円と推計している。また、JAふらのによる災害資金の需要額調査を行ったところ、12月上旬で34件、1億5千600万円の借入れ希望と報告を受けている。

中瀬議員 これらの被害に対する救済対策について。

て伺う。

斉藤町長 農業者に対する支援については、JAふらので低利の融資資金の農林漁業セーフティネット資金、JA農業経営緊急支援資金の対応を実施しており、それらに対する利息と保証料について支援をしたい。

中瀬議員 1億5千600万円の利息、保証料はいくらくらいになるのか。

大谷農業振興課長 今現在、申込み借入れ価格が1億5千600万円程度となっているが、仮に借入れ期間を10年で試算した場合、約138万円の金額となる。

ひとくちメモ

耐震化とは…2013年に建築物の耐震、改修の促進に関する法律が改正され、病院や学校など、不特定多数が利用し避難に配慮が必要な建物に義務付けられている。

農業
支援

干ばつ、価格低下への農家へ支援を

町長－支援は借入金の利息と保証料

齊藤町長 農業が再生可

今年の被害をどのように受け止めているか伺う。

高松議員 今回の干ばつ

は、再生可能な産業としての根本が崩されようとしている。天候・地理的条件は変えられない。今年の被害をどのように受け止めているか伺う。

齊藤町長 JAふらのに

おいて、資金の貸付けの受け付けを実施している。34件、1億5千600万円の申込みがあり、町としては、貸付金の利息と保証料を支援したい。

高松議員 今年度、畑作

水稲、飼料作物は高温干ばつによる減収、価格の低下により経済的打撃を受けた。共済金、収入保険支払いまでのつなぎ融資を早急に必要とする。町の支援について伺う。

つぶやき…

今年の高温、干ばつは今までの北海道農業の変換を迫られるような事態ではと思う。農業者、行政の対応・対策が重要となる。



干ばつの被害を受けたデントコーン

能な産業であることは、明らかであるが、干ばつや雨などの災害なども含めて、今後、注意深く気象条件をみていく。足腰の強い農業としていくため、対応について将来的に考えていく。

高松議員 米価の下落だ

が、地域農業再生会議により転作と稲の作付は均衡がとれていた。酪農畜産も同様に収入の減少、飼料の高騰、加工品の在庫拡大で窮地に立たされているが伺う。

齊藤町長 コロナが終息

し回復するが見極めながら検討したい。いろいろな情報が出ると思う。何が最善か今後検討したい。



高松 克年 議員

盛土の面積が3千㎡以上、または盛土をする前の地盤面の水平面に対する角度が20度以上で、かつ、盛土の高さが5m以上とされ、町内に該当箇所はない。



質問のあった静修地区埋立地

土砂災害の対応は

高松議員 豪雨による熱

海市の災害を受けて、全国の盛土調査が行われたが、我が町ではどのような結果になり、対象の地域があるか伺う。

齊藤町長 調査内容の詳

細は明らかにされていないが、結果がまとまり次第、公表されるものと捉えている。大規模盛土造成地については、盛土の面積が3千㎡以上、または盛土をする前の地盤面の水平面に対する角度が20度以上で、かつ、盛土の高さが5m以上とされ、町内に該当箇所はない。

高松議員 静修の20万㎡

埋立地は大規模造成ではないか。

宮下総務課長 町長が答

えた大規模造成の定義には当たらない。知事の許可も必要としていない。

佐藤副町長 議員が示す

ところは北海道が残土を入れているところであり、道の基準のもと設計施工を行い、安全対策も道が責任を持っている。

ひとくちメモ

収入保険とは…災害による収入減少、価格低下等、収入減少を補償する。加入者は青色申告者、基準収入の9割を下回った場合、下回った収入の9割を上限に補てんする。保険料、積立金、付加保険料は必須。

日の出
公園

町として公園の利活用の計画は

町長－ 3つのイベントを中心に組み組みたい

つぶやき…

今後誰が主体となつてどのように公園を積極的に活用していくのか、町としての明確な考えが聞きたい…。



小林 啓太 議員

ひとくちメモ
指定管理業者とは…町が公共施設に対してお金（委託費）を払って民間企業に管理運営してもらう制度。利用料金などの売上は管理業者の利益となる。

小林議員 今後、町が主体的に日の出公園を活用していくイベントは。

斉藤町長 ラベンダーフェスタ、雪まつり、北の大字の3つを中心に考えていく。

小林議員 現時点ではその3つ以外の案は持ち合わせていないという理解でいいか。

佐藤副町長 夏のイベントに関しては、ライトアップをベースに、期間内に小さいイベントをやるかどうかなどはこれから運営委員会において議論されるものと期待している。

提案がメインになっていくということか。

斉藤町長 使わせてほしいといった要請や要望があれば、どんどん受けて活用を図っていききたい。

小林議員 町としては積極的にそのような個人や団体のサポートしていくということか。

斉藤町長 どういうサポートがあるかも含めて、連携を密にして検討していきたい。

小林議員 現在、町は日の出公園について、年間



日の出公園に建設されたスノーパークでジャンプ！

約2千700万円の委託費を民間の指定管理業者に支払い、管理運営を委託している。その指定管理業者に、自主的なイベントを開催してもらい公園に多くの人を集客してもらうことは期待していないのか。

佐藤副町長 現段階で受託してくれている会社に対して、それらを期待するところまではいたっていない。

小林議員 新設の駐車場も含めた冬の公園の活用についての考えは。

斉藤町長 駐車場を活用して北の大字の際はドライブインシアターを、雪まつりにおいては滑り台設置など祭り会場として活用を図っていく。

小林議員 町内の個人の方、冬のスキー場の一部を利用してスノーパークを設置運営して町を盛り上げたいと立ち上がったが、公園利用のルール上、運営費を利用者から徴収するのが困難であると耳にした。町としてはこういった個人に寄り添うことはできないのか。

斉藤町長 原則営業行為の場合公園の使用料は高く、減免もないが、運営方針などを伺い、一律営業だからダメということではなく、民間のイベントであっても公共性が含まれている場合もあるもので、今後検討していかなければと思っている。

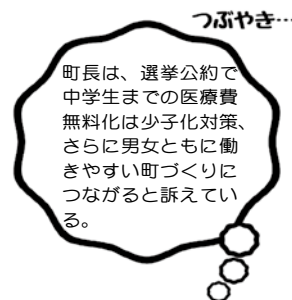
予算
編成

中学生までの医療費無料化の実現は

町長－令和4年度予算に計上するよう努力する

荒生議員 選挙の際、公約に掲げた主たる政策の実現に向けて、令和4年度予算に具体的に反映させようとする施策は何か。

齊藤町長 新たな視点を持って予算編成を行うことを目的に、令和4年度から積上げ要求及び1点審査方式に変更することとし、平成12年度から22年にわたり実施してきた予算枠配分方式については、廃止することを基本方針とした。現在、その方式に基づき予算編成が進んでいる途中であり、限られた財源の中では実現できる事業も限られるところであり、今後、副町長査定・町長査定を進めていく中で十分検討・熟慮の上判断していきたい。



令和3年第1回定例会で執行方針を述べる齊藤町長

いと考えているので、この段階で具体的な事業を答えることは控えたい。

荒生議員 令和3年第1回定例会において町長は、令和4年度からのスタートができるようしっかりと頑張っていくとの答弁と頑張っていくとの答弁

だったが、当時の思いから何ら変わりなく実現に向けて進んでいるのか。

齊藤町長 前回の答弁から特に変わりなく、令和4年度からスタートできるよう鋭意努力している最中である。



荒生 博一 議員

補足給付縮小に伴う利用者負担軽減策を

荒生議員 今年8月に介護保険制度の見直しが行われ、介護保険施設を利用する低所得者の食費や居住費を補助する補足給付が縮小され、介護を必要とする高齢者に大きな影響が出ている。町が運営する施設において、今回の制度見直しにより影響を受ける利用者数と影響額の概算は。

齊藤町長 改正前の7月分と改正後の8月分の自己負担額について比較すると、ラベンダーハイッ入所者は19人、1人あたり平均2万2千890円、短期入所では19人、1人あたり平均3千355円であり、町立病院の介護医療院で

は2人、平均2万3千436円が増額となった。

荒生議員 利用者の負担軽減を図るべきでは。

齊藤町長 町としての介護保険利用者負担軽減策は、社会福祉法人等による利用者負担軽減制度事業を平成27年度から実施しており、ラベンダーハイッ施設入所、短期入所、通所介護と社会福祉協議会が運営する小規模多機能型居宅介護・訪問介護を対象としている。また、町内の社会福祉法人が運営する施設入所、短期入所及び通所介護も対象とし、令和3年度においての軽減対象見込み者は27名、補助額100万円を予算計上し、利用者負担軽減策を講じている。

ひとくちメモ

補足給付とは…介護保険3施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設）や短期入所を利用する低所得者に対し、食費と居住費の一部を介護保険から給付する制度。

子ども
医療費

中学生までの医療費無料化を

町長－令和4年度の実現に向けて努力したい

つぶやき…

中学生までの医療費の無料化実現は、住民の皆さんと力をあわせた結果です。



米沢 義英 議員

米沢議員

中学生までの医療費の無料化を切望する声が高まっている。子ども達の命と健康を守るためにも、町長の公約である中学生の医療費の無料化を令和4年度に実施するのに向う。

齊藤町長

私が掲げた7つの政策の1つである中学生までの医療費の無料化は、子育ての不安や負担を少しでも解消するための少子化対策のみならず、将来の子育て世帯が上富良野町で子育てをしてもらうための定住移住対策の面もあり、非常に重要な施策と考えている。事業実施に向けて、現在令和4年度予算編成を進めている最中で、事業費と財源について調整を進

めている状況にあり、実現に向けて努力したい。

米沢議員

将来は、高校生までの医療費の無料化も想定をしているのか。

齊藤町長

高校生までの医療費無料化についても意味のある施策と認識し

ているが、町全体の中で施策の優先順位・緊急性を考え、現時点では想定までにいたっていない。公約を実現することを優先とさせたい。



上富良野中学校

国民健康保険税の軽減を

米沢議員

高い国民健康保険税については、全国知事会、市町村会からも構造上の問題があるとし、国に公費負担を増やし軽減策を求める声が上ががり、国は来年度から就学前の子どもに限って均等割を5割軽減されるようになったが、国民健康保険税の軽減策としては不十分であり、町独自の上乗せ策として均等割の軽減を就学前に限定することなく、中学・高校まで拡充としては。

齊藤町長

令和4年度から子どもの未就学に係る国民健康保険税の均等割額を2分の1に減額し、減額相当額を公費で支援

する制度が始まる。将来的には、被用者保険と同様になると認識している。国民健康保険税の軽減の内容については、令和4年度予算編成の最中であり、今後、保険税率については、令和6年度に資産割が廃止、令和12年度に保険料の全道統一が予定されているが、財政調整基金を活用した中で軽減策を実施できないか、国民健康保険運営協議会に諮問し、審議の結果、子どもの医療費の均等割については就学前を含め学生については減額、資産割も廃止で了承された。令和4年度の予算編成で作業に入らせていただきたい。

ひとくちメモ

国民健康保険とは…健康保険や共済保険などの職域保険に加入していない労働者、農林水産業者、自営業者、退職者や無職の人などを対象にした医療保険制度です。

先進地から学べ!!

「議会をアップデートせよ」

議会改革と議会中継

議会運営委員会

【本別町】

議会運営委員会は令和3年第3回定例会において、閉会中の継続調査として先進市町村行政調査の調査テーマを「議会活性化の取り組みについて」に決定し、令和3年10月から3回の委員会を開催し、11月9日十勝管内本別町議会、11月10日清水町議会で「議会活性化の取り組み」の調査を行った。

本別町は十勝の東北部に位置し総面積391・91km²で総人口は6千565人。主な産業は農業と工業で地場産品の加工を行う工場が発展している。

活力ある議会を目指し議会運営等に関する基本事項を定めた「本別町議会基本条例」を平成28年6月に制定していた。



【清水町】



清水町は道東の玄関口、十勝の西部に位置し総面積402・25km²で総人口9千206人でゆたかな大地で小麦、豆類、てん菜、牛乳の生産が盛んで、それらを加工する工場が多く農産加工の町である。アイスホッケー、「第九」の町民合唱、文化、スポーツ活動が盛んな町である。

まとめ

今回調査した本別町議会、清水町議会は先進的に議会活性化に取り組んでいる模範的な議会である。わが議会の喫緊の課題である「議会中継」「議員倫理」「議会モニター」「議員定数、議員報酬」等に視点を置いた研修を進めることができた。

本別町議会では、平成28年に制定した「本別町議会基本条例」に基づき議会改革、議会活性化に取り組んでいた。また、積極的な情報開示に臨み「議長との対話室」の随時開催、重要案件に対する「出前報告会」「各種団体とのミニ懇談会」等の開催は住民への情報開示の点で参考になった。

また、「議員定数について」は12名が限度であることと「議員報酬」は十勝標準試算をもとに検討されていた。清水町議会では議会改革の一環として平成20年6月に議会の状況を生中継、録画中継を開始した。また、令和3年には議会中継システムの更新が行われていた。

平成28年に「議会活性化特別委員会」を設置し、議員定数、議員報酬、議会モニターの導入等14項目の調査・検討がなされていた。現在の議員定数は委員会活動を考慮、現状の13名のまま。議員報酬については十勝標準試算を参考にして決められ、引き上げる案もあったが町民の理解が得られないと判断し据え置かれている。

今後、本別町、清水町両議会の取り組みを参考に「より身近で開かれた議会」を目指し議会活性化、議会改革に取り組んでいきたい。

本町議会の議会中継導入にあたってはシステムや予算を慎重に検討する必要があると認識させられた。

ギカイの課題を

「議会だよりをアップデートせよ」

紙面も企画も情熱も

議会広報特別委員会



【幕別町】
議会報告会を広報発行とともに担うことを目指し、「特別「委員会ではなく広報公聴」常任「委員会として活動されていた。議会と町民を繋ぐ取組みとして、議場DEコンサートや高校生議会等は、特筆すべき点であり、可能性を感じた。

議会広報特別委員会は、議会の活動をいかに「町民」皆さんに伝えるかを学ぶため、令和3年11月17日、18日に十勝管内の幕別町と音更町で研修を行った。議場コンサートや高校生議会の開催、私服での委員会開催など、それぞれの特色ある運営方法から議会だよりの編集まで、とても参考になる研修となった。



【音更町】
広報特別委員会として活動しており、「常任「委員会となることに全員が否定的であった。議員が私服で会議に参加し、自由闊達に意見が出る会話・対話の場を重要視し、「中学生でも理解できる議会だより」を目指していた。情熱と愛情をもって議会だよりを作成する姿勢が見られた。

まとめ

町民にどのようにして議会広報を読んでもらうかという共通の課題を抱えているが、2町の違いが見て取れた。

幕別町議会は議長が示す方向性のもと、各委員会活動報告に紙面が割れている。また、議会そのものを町民に身近に感じてもらったため、議場を使ったコンサートを行ったり主権者教育の場として高校生議会を開催するなど、町民に「議会」「議場」に一度足を運んでもらう工夫が見られた。結果として議会だよりに関心を持ってもらえることにも繋がり、内容の充実に結び付き、町民に身近に感じてもらえることにもなったと考えられ、大きな変革に繋がったと伺った。

音更町議会は、広報コンクールで受賞経験があり、伝統を守り、細部に

まで心を配り、リニューアルを今も続けているとのことだった。町の広報とは住み分けしており、予算・決算等詳細な数字はあえて議会だよりでは扱わないとの手法をとっていた。また議会モニター制度を設け、一年間の期間で高校生を含む町民から意見を聴取しており、議会だよりと住民を結び付け、向上に繋がる取組みとして有効であり取り入れるべきと思われる。

両町の取組みを見て、よりよい議会だより編集にたいへん参考になった。





～傍聴者の声～

12月定例会の傍聴に足を運んでくれた方は延べ57人でした。

傍聴席に限りがあり、ご不便をおかけしましたが、来ていただきありがとうございます。

ふらのほら鍋 野原 拓さん

上富良野町にUターンで戻ってきました。今回で5回目の傍聴になります。上富良野町のより良いまちづくりのため、議員さんが町民目線で真剣に議論されている姿にとても共感しました。町の活性化にもっともっとこだわりをもっていききたいです。

匿名希望さん

初めて傍聴しました。聞きなれない言葉などがあって少し難しいと感じたところもありましたが、町長と議員の生のやりとりが聞けて良かったです。また機会があれば足を運んでみたいと思います。

女性

傍聴者が多くてビックリしました。一般質問の答弁者が原則、斉藤町長であることに驚いた。町のリーダーである町長が答弁した方が個人的には良いと思うのでこのスタイルを維持してほしいです。

議会を傍聴してみませんか？

次の定例会は…

3月2日(水) 報告案件、補正予算など
3日(木) 執行方針、新年度予算など
8日(火) 一般質問
9日(水) 一般質問
16日(水) 条例改正など

※この日程は変更になる場合がありますので、ご確認のうえ、役場3階の議場までお越しください。
傍聴にあたっては、新型コロナウイルス感染症の予防にご配慮願います。

2月7日	28日	26日	24日	19日	14日	13日	20日	16日	15日	9日	8日	7日	6日	30日	29日	26日	24日	19日	17日	9日	5日	27日
議会運営委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会

編集後記

■新しい年を迎え皆様はいかがお過ごしでしょうか。昨年は度重なる緊急事態宣言で我慢を強いられた年でした。緊急事態宣言が解除となつてからは少しずつウィズコロナの生活となりましたが、それでも変異株はすぐそこまできており、感染拡大の波がまた世界中を襲っています。まだまだ予断を許さない状況が続いています。体はソーシャルディスタンスで、心は手を取り合つて平穏な毎日を取り戻したいですね。一日も早い収束と経済復興を願うばかりです。

(元井 記)

議会広報特別委員会

委員長	小林 啓太
副委員長	元井 晴奈
委員	高松 克年
	中瀬 実
	佐藤 大輔
	小田島 久尚

発行／上富良野町議会

編集／議会広報特別委員会